

科目名	地域のくらしを支える看護 I	配当時期	1年次後期	講義担当者	
時間割表記名		単位数	1単位	高木 雅弘	
	地域のくらしを支える看護 I	時間数	15時間(8回)	(実務経験のある教員)	
事前学習内容					
講義に必要なテキストを熟読する。					
授業目標					
1. 時間の流れや場の広がり、ライフイベントなどとともに人々の暮らしを理解する。					
2. 人々の生活圏・生活環境を理解する。					
3. 地域や様々な場での地域活動について理解する。					
4. 環境が生活にどのような影響を与えるか理解する。					
DPとの関連					
DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。					
DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。					
DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。					
DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。					
DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。					
授業の流れ					
回	学習内容	方法		備考	
1	1. 暮らしとは 1) 暮らしを構成するもの 2) 暮らしている人(一人ひとり異なる暮らし) 2. 地域とは 1) 地域とは 2) 地域によって異なる暮らし	講義 演習(グループワーク)		テキスト①②	
2	3. 地域の構成要素(地域の構成と特性) 1) 地域の歴史や地域文化の特徴 2) 地形・気象・気候の特徴 3) 土地環境・土地利用の特徴 4) 人口・経済・産業の特徴 5) 地域の住民組織	講義 演習(グループワーク)		テキスト①②	
3	4. ライフステージによる多様性 1) 小児期の対象者	フィールドワーク 計画(90分)		テキスト①②	
4	2) 成人期の対象者	実施(180分)			
5	3) 老年期の対象者				
6	5. ライフステージによる地域活動 6. 各ライフステージで共通する地域活動	まとめ(90分)			
7	7. 生活環境が生活に与える影響	発表会		テキスト①②	

8	8. 地域の生活環境が健康に与える影響		※8回目 45分
<p>受講上の注意</p> <p>○フィールドワークでは、地域で生活している高齢者の活動に同行するため、老年看護学概論で学んだ高齢者の特徴を復習し、高齢者を尊重した態度で活動できるよう学習しておく。</p> <p>○課題レポート、発表についてはルーブリックを示して評価する。</p>			<p>評価方法</p> <p>出席状況 レポート</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤 医学書院</p> <p>②系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論2 地域・在宅看護の実践 医学書院</p> <p>参考文献</p> <p>①地域・在宅看護 看護判断のための気づきとアセスメント 中央法規</p>			